

平成21年度 第1回 豊田市保健福祉審議会
法人・施設専門分科会 議事録

【開催日時】 平成21年7月2日（木） 午後2時00分 ～ 午後3時00分

【開催場所】 豊田市役所南庁舎7階 南73委員会室

【出席委員】（敬称略）＜出席委員＞ 加藤孝正、山内健二、近田研、酒井住雄、宇井銀之、秋山道子

＜欠席委員＞ 山口光岳

【事務局出席者】 西山福祉保健部長、鈴木保健所長、奥村福祉担当専門監

高齢福祉課：田中課長、柴川副主幹、杉本係長、太田主査、石原主査

総務課：杉浦課長、後藤副主幹、下田主査、藤川主査

- 【次第】
- 1 豊田市あいさつ
 - 2 分科会長あいさつ
 - 3 新任委員紹介
 - 4 議事 ・第4期介護保険事業計画における認知症高齢者グループホームの整備の方針について
 - 5 報告 ・地域密着型介護老人福祉施設及び認知症高齢者グループホームの整備状況について
・社会福祉法人の認可及び保育所の整備状況について
 - 6 その他

1 豊田市あいさつ

●事務局

それではただいまより平成21年度第1回豊田市保健福祉審議会法人・施設専門分科会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

始めに、豊田市は公正で透明性の高い市政運営を推進するため、原則として審議会の公開に努めております。この分科会においても原則公開ということで、本日の分科会も公開いたしますが、本日はどなたも傍聴の方はいらっしゃいません。

それでは、福祉保健部長の西山よりご挨拶を申し上げます。

●西山福祉保健部長

みなさんこんにちは。福祉保健部長の西山でございます。本日は大変お忙しい中、また、足元の悪い中ご参集賜りまして、改めてお礼申し上げます。

昨年私ども豊田市は、第4期介護保険事業計画を策定いたしまして、12の市内の地域で説明会、あるいは策定の報告会等を実施させていただきました。その中で市民の皆様の意見をお聞きして、財政状況の大変厳しい中がございますけれども、介護保険の保険料については第3期と同じように3,838円ということで、基金の取り崩し等も行いながら、従来どおりの金額に据え置きをさせていただいたところでございます。

また、豊田市の一般会計は前年度をかなり下回る金額で今年度の当初予算がスタートしましたが、幸い私ども福祉保健部の予算につきましては概ね前年度並の予算を確保することができまし

た。市としましては市民の皆さんに大きな迷惑をかけることなく、福祉のあるいは保健行政の執行ができるかと、大変喜んでいただいております。次年度も引き続き大変厳しい状況となることが確定的でございますが、本年度に引き続いて、市民の皆さんにご迷惑をかけることの無いよう福祉行政の推進に努めて参りたいと思っております。

本日は、冒頭にふれました第4期の計画を踏まえまして、この計画で定めている認知症高齢者グループホームの整備の方針について、委員の皆様方のご意見をお聞きするという事で開催させていただきました。後ほど事務局の方から説明がありますが、従来の公募とは違った形で、市民の皆様のためになるような整備の方法を考えていきたいと思ひ提案させていただきますので、忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。本日はご審議をよろしくお願い申し上げます。

2 分科会長あいさつ

●事務局

ありがとうございました。次に、専門分科会長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

会長

ご通知がいったかと思ひますが、今回は第4期介護保険事業計画における認知症高齢者グループホームの整備に関して皆さんに審議をいただきたいと思ひます。事務局より資料が手元についているかと思ひます。また、報告事項もござひます。短い時間かと思ひますが、中身の濃い審議をお願ひしたいと思ひます。公開に関してですが、傍聴者はいないということですので、よろしくお願ひします。

3 新任委員紹介

●事務局

ありがとうございました。次に、委員のご交代がありましたのでご紹介させていただきます。お手元の委員名簿をご覧ください。新しく委員としまして、豊田市議会より山内健二様、社会福祉法人豊田市社会福祉協議会より宇井銀之様、豊田市区長会より山口光岳様、山口様は本日ご欠席でございます。3名の方が保健福祉審議会委員長より法人・施設専門分科会委員に指名されましたのでご紹介させていただきます。

それでは、新たに委員となりました山内委員、宇井委員に、自己紹介をお願ひしたいと思ひます。

●委員

皆さんこんにちは。初めて委員となりました豊田市議会山内健二でございます。まだ何分にも色々分かりませんので、皆さんと一緒に勉強してまいりたいと思ひます。よろしくお願ひします。

●委員

社会福祉協議会にこの6月から関わっております宇井銀之と申します。初めてのことですけれ

ども、委員の皆様には他の協議会や分科会でも色々お世話になっておりますので心強く思っております。何分新人ですので、よろしく申し上げます。

●事務局

ありがとうございました。本日の出席委員数は、委員7名中6名となります。豊田市保健福祉審議会運営規程第4条第5項の規定による「過半数」の定足数を満たしており、専門分科会が有効に成立していることをご報告申し上げます。それでは、議事の進行を会長に申し上げます。よろしく申し上げます。

●会長

それでは、私が議長役を務めさせていただきますのでよろしく申し上げます。今日の議事録署名者を、審議会運営規程第12条第2項に基づいて、宇井委員、近田委員にお願いいたします。

●両委員

承諾

4 議事

●会長

それでは、さっそく議事に入りたいと思います。第4期介護保険事業計画における認知症高齢者グループホームの整備方針について、担当部局よりご説明いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

●事務局

説明：第4期介護保険事業計画（平成21年度～平成23年度）における認知症高齢者グループホームの整備方針について

●会長

ありがとうございました。第4期の介護保険事業計画の認知症高齢者グループホームの整備方針についてご説明いただきました。

過去の経緯として、認知症高齢者グループホームは公募によって運営事業者を決定するという方針で進めてきましたが、表の収支率を見ていただきますと、1ユニットだと1.0%、2ユニットだと11.4%、3ユニットだと7.5%という数字になることから、2ユニットで展開するべきではということが読み取れます。過去の公募実績において、1ユニット事業所公募は参入意欲が極端に低く、3回連続して応募事業者が出なかったというところも、収支率が1%というところが影響しているのかと推測できます。実際に事業者に聞いてみると、4事業所が増床を希望しており、1ユニット増床で進めていきたいという大筋でございます。

委員の皆様、何か質問やご意見はございますか。

●委員

前のお話になりますが、お聞きします。松平地区で辞退したという件ですが、1ユニットだと

経営的に厳しいので手を挙げないということで、今の1ユニットのところを増床することでやっ
ていこうということですが、松平地区に誘致しようという目的は、その地区にグループホームが
無く、そのエリアに欲しいということで進めていた話かと思えます。1ユニットのところは経営
上苦しいから2ユニットにしようという考えは問題ないと思えますが、それでは松平地区にグル
ープホームが無いという問題については何の解決にもなりません。2ユニットで経営が成り立つ
のであれば、松平地区で2ユニットを公募するという考えは無いのですか。

●田中高齢福祉課長

ご意見はおっしゃるとおりであります。今回私たちが優先的に考えておりますのが今ある事
業所をつぶさないようにすることが先かと思っております。まず、今ある1ユニットの事
業所を存続していただくことを優先的に考え、松平の2ユニットではなく、今回の方法でいき
たいと思っております。

その理由としまして、先ほど説明いたしました厚労省の結果もありますし、実際に私たちが実
地指導で事業者と話してみると、事業者の方から経営について相談を受けることがありました。
その中で、昨年度意向調査をさせていただいたところ、4事業所から増床をさせて欲しいという
具体的な要望が出てきましたので、今回はこのような特別措置でさせて欲しいと考えています。

●委員

将来的には松平地区のことも考えていらっしゃるということによろしいですか。

●田中高齢福祉課長

はい。全くいらぬということではありませんので、考えております。

●委員

認知症の方を家で面倒をみている方が苦勞しているという話はよく聞きますし、在宅介護の大
変さもよく分かっておりますので、少しでも入れるところが必要かと思っております。今経営をさ
れている方が苦勞されてやっけていて経営が成り立たないではいけないと思っておりますので、増床
することには大いに賛成でございますが、1点質問をさせていただきます。1ユニットで始めたところ
は、最初から1ユニットを希望して始めたのか、もっと広げたかったけれども仕方なく1ユニ
ットで始めたのか、どちらですか。

●石原高齢福祉課主査

今回増床を希望する4つの事業所は、3つの事業所については自ら1ユニット事業所を始めた
もので、1つの事業所については市が1ユニット事業所を公募したときに手を挙げた事業所にな
ります。

●委員

やってみたら大変だったため、少しでも広げて安定した経営をしたいという意見が出たとい
うことですね。

●委員

1ユニットでも2ユニットでも、単独で行うと大変費用がかかり、経営が成り立たないと聞いています。病院は3か月を超えると出されてしまい、自宅に帰っても介護できず、家庭の抱える問題はとても大きいのです。この3か月という国の方針は止むを得ないものです。それ以上病院で介護、看護をすると、病院が経営できなくなるため、看たくても看られないのが現状です。しかし、家庭でも面倒を看られないため、このような民間の施設が必要となります。

ただ、介護の世界は賃金が安く、一旦就職しても介護職員が辞めてしまう傾向が強いです。高齢者を介護するというのは体力が必要であるため、若い人に介護をお願いしないといけません。数字では2ユニットは収支率が高いと出ていますが、実際は、1ユニットでも2ユニットでも非常に経営が厳しい状況です。介護現場はとても大変ですが、それでも支援していかなければならないと思います。

●会長

この意見についてはどうですか。2ユニットでも介護する側の職員確保が大丈夫かどうか問題です。

●田中高齢福祉課長

人の確保の問題についてはずっと言われ続けており、国も色々な手を打っています。昨年度末に介護報酬の改定がなされ、国の二次補正でも、少しでも人の確保につながるように動いており、その動向に期待したいと思っています。市としても、国の仕組みの中で少しでも介護人材が確保できるようにしていきます。

昨年、2回事業所へ意向の確認をしており、最近も再度お邪魔して確認をさせていただいておりますので、事業所では準備されているだろうと判断しております。

●委員

国の方針が中途半端になっていますので、豊田市独自で対応していかなければいけない場合も出てくるかと思っています。

●委員

厚労省のデータによると、1ユニット事業所の収支率は1.0%となっております。豊田市において1ユニットのところは10か所ございまして、今回4つの事業所が増床の希望が出ておりますが、他の6つの事業所の収支率はどうなっているか分かっていますか。

●田中高齢福祉課長

全事業所ではなく、一部事業所に対して任意で収支状況を調査いたしましたところ、その多くは赤字となっていました。その状況から1ユニットは経営が苦しいかと推測しました。

●委員

そうしますと、手を挙げられた4か所は、1ユニットを増やせばやっつけられるという予測をたてて2ユニットにしたいという意向を示したということですか。

●田中高齢福祉課長

はい。そう判断しています。

●委員

その他の6か所について今後どうなっていくかという詳細は分かっていない状況ですか。

●田中高齢福祉課長

分かっていませんが、平成23年度も2ユニット整備の予定がありますので、もう一度話を聞きながら、ご希望があれば、同じような手法でやっていきたいと思っています。

●委員

確かな数字ではありませんが、80歳以上の方の3分の1くらいが認知症にかかっていると聞きました。今後高齢者が増えていき、受け入れ体制が非常に重要となりますので、経営してもらえようようにどうしていけばいいのかを豊田市として考えていかないと、先ほど話に出たように国から来た方針をそのまま使っていてはいけないと思います。今後行政として対応できるようにして行って欲しいです。

●委員

今回の諮問は、1ユニット事業所の増床を認めようということですが、もっとユニット数を拡大したいという事業者の調査はしましたか。もしあれば、今回はそういった事業者への対応はできないのですか。

●田中高齢福祉課長

以前は3ユニット、4ユニットというところが認められていましたが、現在は法律上2ユニットまでしか認められていません。表中には3ユニットのデータもありますが、現在は2ユニットまでとなっています。

●委員

2ユニットは給与費が低くなっています。ここで考えられるのは、管理者及び介護支援専門員の兼務の可能性があるということです。そこが収益の出るポイントとなりますが、兼務ということだと施設に入っている利用者への影響が心配されますが、大丈夫ですか。

●田中高齢福祉課長

兼務によるサービス低下への懸念について、人の配置が濃ければ濃いほどサービスの質が上がるかもしれませんが、兼務による影響については大丈夫とっております。実地指導に入りますので、十分実態を把握しながら、サービスの質の低下につながらぬよう市として指導をしてまいります。人力的には十分かと思っております。

●会長

病院との絡みで、何かご意見はありますか。

●委員

先ほどおっしゃられたとおりかと思えます。市が国の方針を無視することはできませんので、国の方針は国の方針として、他に市として何ができるかを考えることは大事かと思えます。

●会長

3か月過ぎて病院を出た高齢者の行き先が無い場合が出るのではないかと懸念しています。経営に難がある施設は作りたくないですが、市内で認知症高齢者が多くなるのも困ります。高齢化速度と施設整備を関連付けた見通しはありますか。

●田中高齢福祉課長

要介護認定者の37%までを上限として施設整備をすることという国からの指導がありまして、現在第5期までを見通して施設の整備数を計画しています。第5期の最終年度である平成26年度までに37%になるように計画しています。上限がある以上、そこまでは作りたいと思い、努力しております。いっぺんに作ってしまうというよりも、将来的に介護保険をご利用になるであろう方々の見通しも踏まえてこの計画とさせていただきます。

●会長

意向を示した以外の事業者が手を挙げた場合、どうしますか。

●石原高齢福祉課主査

できる限り意向に応じて増床を認めていきたいと考えております。手が挙がらなかった事業所は母体が大きな社会福祉法人や医療法人になりますので、赤字を本体の病院や特別養護老人ホームで吸収できるということで、意向は示しませんでした。

●委員

増やすことには賛成です。ぜひ進めていただきたいです。しかし、サービスが低下することが無いように皆さんに確認をしていただきたいです。実態調査などをしっかりやってくださいますようお願いいたします。

●田中高齢福祉課長

実地指導でしっかり見ていきたいと思えます。

●委員

介護職員は、昼間の勤務なら良くても夜勤を嫌がり、24時間の勤務はどうしても敬遠されてしまいます。夜中まで働く割に賃金が少ないと感じ、若者が職員として入ってもすぐ辞めてしまいます。介護はとても難しい仕事であり、どこの施設も職員を探すために必死になっています。介護系の学校を出た人が施設へ就職してしっかり介護してくれれば、老後の安定感がありますので、若者が喜んで世話をしてくれる状態を豊田市独自でも作らないといけません。

病院から3か月で出されてしまって家庭に入っても、面倒を看られる人がいなく、家庭内でトラブルが発生してしまいます。施設に入ろうとしても多数の待機者がいます。

グループホームくらいの施設の規模が一番いいのですが、この規模の施設が一番やりくりが大変で、経営者は手を出しにくいという状況です。市の単独の考えをもって高齢者への対応を進めないといけない時代になってしまったのではないのでしょうか。

●会長

世の中の不況と重なって、難しい問題です。それでは、みなさんの了解を取りたいと思います。1ユニットだと経営が難しいため2ユニットの形で経営をしてもらおうということで、よろしいでしょうか。

●委員全員

異議なし

5 報告

●会長

ありがとうございます。それでは、次に地域密着型介護老人福祉施設及び認知症高齢者グループホームの整備状況の報告についてお願いします。

●事務局

報告：地域密着型介護老人福祉施設及び認知症高齢者グループホームの整備状況について（高齢福祉課）

●会長

報告事項は、平成21年3月、4月にできた施設と、今後10月にできる予定のものがあります。ここまでは予定どおりと言ってよろしいですか

●石原高齢福祉課主査

はい。

●会長

本年度は29名の特別養護老人ホームを2か所募集ということで、今月いっぱい募集中です。それを9月に現地視察、10月に審議を行う方向です。日取りについては今後決定するということです。次は、(福)総務課からです。

●事務局

報告：社会福祉法人の認可及び保育所の整備状況について（(福)総務課）

●会長

報告を受けて質問や確認はありますか。

それでは、今日の予定の議事と報告を終了します。非常に能率的に、また質問をたくさんいただきましてありがとうございました。では、最後に事務局より連絡をお願いします。

6 その他

●事務局

長時間にわたりありがとうございました。事務局より事務連絡がございます。今お話にもありましたとおり、次回の会議でございますが、特別養護老人ホームの現地の確認を、9月に予定しております。その後10月に諮問を予定しております。日程が決まりしだいご連絡をさせていただきます。なお、議事録につきましては、早急に作成してご確認いただきますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、これをもちまして平成21年度第1回豊田市保健福祉審議会法人・施設専門分科会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。

平成 年 月 日

議 長

㊟

議事録署名人

㊟

議事録署名人

㊟